

ARCH

SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

13

2026.01



口腔から 全身の健康を支える



「食べる」「話す」など、毎日何気なく動かしている口腔。

済生会新潟県中央基幹病院の歯科口腔外科では、
歯科医院では対応が難しい口腔内疾患の治療や周術期等の口腔管理を行い、
地域の医療機関や他診療科と密に協力し、口腔から全身の健康を支えています。
今回は、歯科口腔外科の池田先生・五十嵐先生にお話を伺いました。

歯科口腔外科 部長

五十嵐 隆一

IKARASHI RYUICHI

■日本口腔外科学会認定医

対 談

歯科口腔外科 主任診療科長

池田 順行

IKEDA NOBUYUKI

- 日本口腔外科学会専門医・指導医
- 日本口腔科学会認定医・指導医
- 日本顎関節学会専門医・指導医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医(口腔外科)
- 日本有病者歯科医療学会認定医
- 歯科医師臨床研修指導医

●歯科口腔外科の特徴や役割を教えてください。

【池田】一般的な歯科医院の場合、虫歯や歯周病、入れ歯治療などが中心となっていると思いますが、歯科口腔外科では、口腔内、顎骨、顔面に生じるさまざまな疾患を治療の対象としています。特に当科のような総合病院の歯科口腔外科では、地域の歯科医院や病院では診断が難しい疾患の対応と口腔の外科処置を中心に治療を行っています。

【五十嵐】もう一つの大事な役割として、歯科口腔外科の患者さんに限らず、さまざまな病気で手術や治療をうけられる患者さんの周術期等の口腔機能管理があります。具体的には、手術や抗がん剤治療などを行う患者さんの口腔ケアを行うことはもとより、会話や咀嚼といった口腔機能を整える総合的な口腔管理を行います。当院は外科や整形外科を中心に多くの手術が行われていますので、入院患者さんの口腔機能管理も非常に多いのが特徴です。

●どのような疾患が多いのですか。

【池田】一番多い治療は難しい「親知らず」の抜歯です。親知らずは埋まっていることが多いため抜歯には少し特殊な技術を要します。また、一般の歯科医院で行うにはリスクが高い心臓疾患、脳血管疾患、糖尿病、骨粗鬆症などの疾患を持つ方の抜歯などの依頼も多いです。全身管理下で抜歯などを行い、内服している薬の種類により、血が止まりにくい、感染しやすい、抜歯後に顎骨が壊死しやすいなどといった影響がありますのでそれぞれの対策を行って抜歯しています。その他に、口腔内や顔面に生じる嚢胞、良性腫瘍、悪性腫瘍、顎骨の骨折などの治療も行います。現在、親知らずの抜歯を中心とする外来通院手術は年間1000件程度、入院して全身麻酔で行っている手術は年間100件程度ですが増加傾向にあります。

●他の診療科や、地域の歯科医院との連携について教えてください。

【池田】口腔の疾患が鼻や喉に及ぶ場合は耳鼻咽喉科に相談し、全身疾患をもつ患者さんの外科処置を行う場合には必要に応じて対応していただける診療科にバックアップを依頼して治療を行っています。こういった点は総合病院である当院の強みであり、患者さんにとっても私たちにとっても安心できる点です。また、当院が開院する2年前まで、私は新潟大学医歯学総合病院の顎顔面口腔外科に、五十嵐先生は日本歯科大学新潟病院の口腔外科に勤務していたので、難しい病状の場合は両大学に相談し、当科での対応が難しい場合などは治療を依頼することもあります。1つの病院で2つの大学病院と連携しているのは珍しいですが、相談窓口が広いことで最善の治療を早く選択できるため、これも当科の強みであると思います。

【五十嵐】地域の歯科医院からの紹介も増えてきました。歯科医師会などを通じての説明会を行ってきたことが徐々に浸透してきているからだと思います。基本的には紹介いただいた患者さんの口腔外科の疾患の対応を行い、一般的な虫歯治療、歯周病の治療や管理、義歯の作製などは引き続き紹介元の先生での治療をお願いし、役割分担を行っています。また、口腔機能管理は病院だけで完結するものではなく継続して行っていくことが大事です。したがって、当院を退院した患者さんの口腔管理については、地域の歯科医院に依頼をしています。取り組みの一つとして、三条市、燕市、加茂市、田上町、弥彦村などの歯科医院の先生方と連絡調整会議を行い、県央地域において患者さんをどのように紹介して診ていくかというシステムの構築を進めているところ です。

●歯科口腔外科としての目標や力を入れていきたい取り組みについて教えてください。

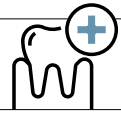
【池田】これまでの県央医療圏の口腔外科の専門医療は、対応に限界があったため多くの患者さんが他の医療圏に紹介されていました。そのような患者さんをできる限り県央医療圏で診ていくことが当科の役割だと思っています。そのために地域の医療機関とさらに密に連携をとり、これまで以上に口腔外科疾患の柔軟な受け入れを行っていき たいです。

【五十嵐】手術を行う患者さんの口腔機能管理を行うことで、術後の合併症が減少し入院期間も短くなったというデータも出ています。このあたりの認識がもっと広がり、いろいろな診療科から「口の中を診てほしい」といった依頼が来てほしいと思っています。

【池田】当院の前身である県立燕労災病院には歯科がなく、厚生連三条総合病院の歯科口腔外科では周術期等の口腔機能管理の取り組みがありませんでしたので、開院当初はその立ち上げに苦労し他科からの依頼はほぼありませんでした。それでも積極的に宣伝を行い、入院センター、骨折リハビリサービス、各病棟などと連携をとることで、現在は毎月150人程度の口腔機能管理を行うに至ってきました。しかし、当院の規模から考えますともっと介入件数があつて良いと思います。

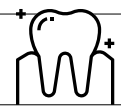
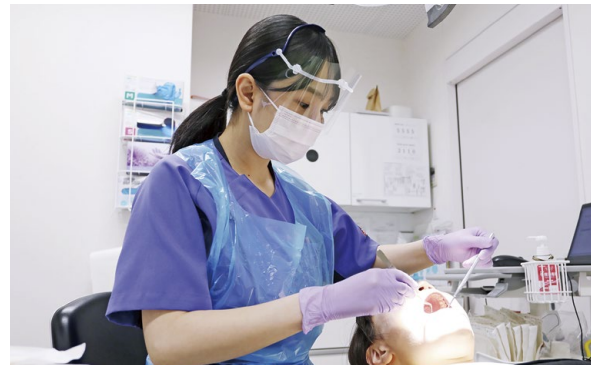
【五十嵐】そうですね。手術やがん治療などを行う際の口腔機能管理には良いことがたくさんあります。そのあたりをもっとアピールして紹介していきたい、他の診療科や地域の歯科医院と連携し、口腔から全身の健康を支えていくことが私たちの使命だと思っています。





周術期等口腔機能管理

周術期等口腔機能管理とは、手術やがん治療、集中治療室における専門的なお口のケアを行う事です。お口の中には常に細菌が1000種類以上存在し、歯垢1g中に1億個の細菌が存在します。周術期等において専門的な口腔ケア、口腔衛生指導を受ける事でお口の中の細菌数が減り、合併症を予防したり、治療をスムーズに進める事ができます。肺炎予防、早期退院、傷の感染予防など手術の前後のお口のケアが手術等の成功と回復を支えています。



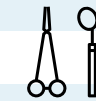
お口の健康が全身の健康をサポート

「食べなかったら歯磨きしなくていいの？」手術前によく聞かれる質問です。手術前後では食事が摂取できない禁食期間があります。食べなければお口は汚れないと思われがちですが、食事をしたり、お話ししたり、お口を動かす事で唾液が出ます。唾液には汚れを洗い流す、抗菌、保護、免疫、消化の補助など…たくさんの大事な役割があり、虫歯や歯周病を防ぎ全身の健康を維持する為の役割を果たしています。禁食期間ではその作用が低下し、お口の中の細菌が増えやすい環境になります。「食べてない時こそいつもの歯磨きを」。歯磨き習慣の継続は、手術の成功と回復の鍵となります。

また、がんの化学療法においてお口の中の粘膜に副作用が出て、食事を摂ることが辛くなる場合もあります。化学療法と合わせた専門的な口腔ケアは、お口の機能を維持する大切な役割です。お口の中と手術…一見無関係に感じますが、お口の健康が全身の健康をサポートしています。



コラム:歯科衛生士の皆さん



歯科口腔外科の扱う主な疾患



1

「親知らず」や有病者の抜歯

親知らずは歯列の最後方に存在する歯であり、横向きに埋まってしまったり一部しか生えてこなかったり場合があります。歯並びに影響する場合や炎症を起こしやすい場合には抜歯が必要となりますが、埋まっている場合は、歯肉を切開したり顎骨を削ったり、歯を分割したりなどして抜歯する必要があるため口腔外科が対応することが多くなります。埋まっている位置が深い場合は全身麻酔下で抜歯を行うこともあります。また、虫歯や歯周病などで抜歯が必要となる方で、脳血管疾患、心臓疾患、高血圧症、糖尿病などを有し、抜歯にリスクがある場合は、口腔外科にて全身管理や入院管理下で抜歯を行うこともあります。

2

口腔領域に発生する疾患

口腔は、歯以外に、歯肉、顎骨、舌、頬粘膜、口蓋、口唇などによって構成されていますが、それぞれに様々な疾患が発生してまいります。具体的には口内炎、粘膜炎、顎骨炎、嚢胞、良性腫瘍、悪性腫瘍(がん)などが挙げられ、このような疾患も治療の対象としています。病態に応じて、X線やCTおよびMRIなどの画像検査、血液検査、細菌検査、細胞検査、組織検査などを行って正確に診断し治療を決定していきます。口内炎や粘膜炎等では薬の治療が主体となりますが、顎骨炎、嚢胞、腫瘍などでは切除や摘出手術が必要となる場合が多く、侵襲が大きな手術になる場合は入院していただき全身麻酔下で手術を行います。

3

歯の脱臼や顎骨骨折などの外傷

転倒や交通事故などで、顔面や口腔内が切れてしまったり、歯が抜けてしまったり顎の骨が折れてしまうことがあります。このような外傷も治療の対象としています。傷が大きい場合には縫合を行い、抜けてしまった歯はきれいで折れていなければ元の位置に戻してしばらく固定し保存に努めます。顎の骨が折れてしまった場合は噛み合わせがズレてしまうことが多いので、上下の歯を縛ってしばらく固定したり、ズレた骨を元の位置に戻して金属プレートで固定する手術などを行う必要があります。

4

顎の関節疾患

両耳の前にある顎の関節にもいくつかの疾患や病態が存在します。その多くを占めるのが顎関節症です。顎関節症は口が開かない、開けると痛む、開けると音がするなどの症状が出現し幅広い年齢層に発症します。顎関節症は細かな病態の把握が治療を選択するうえで重要となるため、MRIを用いて関節や周囲組織の病態を正確に診断し、薬物療法、リハビリ療法、マウスピース治療あるいは関節注射などの適切な治療を選択して行っていきます。また顎関節症以外にも、顎がはずれてしまう顎関節脱臼や、何らかの要因で口が開かなくなってしまう開口障害に対する治療なども行っています。



輸血・検査部

荒木 諒太 ARAKI RYOTA

高校の授業で、体内環境や細胞の役割などを習った時に、もっと知りたいと思ったことが一番初めの入り口で、進路を決める際には体内のしくみや役割に詳しく、その知識や技術で人の命を救うことに携わっている医療職に就きたいと思ったことがきっかけです。そして、調べている中で、顕微鏡検査や超音波検査など様々な検査を担当して、病気の早期発見に携わっている臨床検査技師という職種を知り、自分も検査を通して少しでも患者さんの役に立ちたいと思い、臨床検査技師を選びました。

●この仕事の普段の業務について、具体的に教えてください。

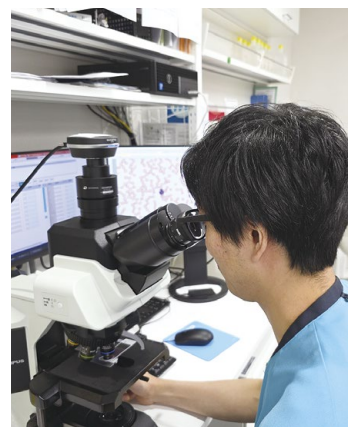
皆さんは臨床検査技師という職種をご存知でしょうか？実は全国の医療機関の中で看護師、医師に次いで3番目に多く、血液・輸血、微生物、尿などの検体検査と心電図、脳波、超音波検査などの生理学的検査を実施している職種です。身近な所では、採血もこなっています。その中で現在私は、血球算定や凝固検査をしており、異常所見がないか確認し必要時には迅速に医師へ報告しています。また、顕微鏡で血球を観察し異常細胞の有無を調べる血液像検査や医師が実施する骨髄検査に立ち会い、スライド標本の作成などを行っています。

●この仕事のやりがいや特徴を教えてください。

例えば超音波検査実施後、検査所見から疾患の診断がなされ、お薬が処方されたり、血液スライド標本から異常細胞を見つけた診断の一助となったり、菌形態の報告によって抗菌薬の選定がおこなわれ、報告した菌種によっては心臓超音波検査が即日実施される場合もあります。自分たちが検査、報告した結果がそのまま患者さんの診断や治療に繋がりが貢献できる所がやりがいの一つだと思います。

●将来の目指す姿や目標はありますか？

臨床検査技師は臨床検査のスペシャリストです。しかしながら、現在臨床検査には様々な分野があり、一つの分野に特化しては不十分な所があります。そのため検査データを迅速かつ正確に報告するだけではなく、多岐にわたる検査の全体を把握し、付加価値の高い検査結果が報告できるジェネラリストにも目を向けていきたいです。



「荒木さんのお気に入り」

東武ワールドスクウェアに旅行をした時の写真です。
大がかりな旅行はなかなか難しいので、
小旅行をして楽しんでいます。

FAVORITE



済生会新潟県央基幹病院の各部門について、
その役割や日々の業務をご紹介します。

県央TEAMS

連携調整室



【地域と医療をつなぎ、患者さんをサポート】
連携調整室は、地域住民・医療機関・病院をつなぎ、患者さんが安心して地域で生活できるように支援する部署です。地域医療連携部門は、紹介患者さんの予約や、転入院調整、医療連携に関する研修会やフォーラムの企画運営、関係医療機関への訪問などを行っています。医療福祉相談部門では、介護保険や身体障害者手帳などの福祉制度や、退院・転院支援、経済的相談など、病気によって生じる様々な相談に対応しています。

連携調整室では、当院からつりつけの方だけでなく、地域の皆さまを対象に支援しています。診療所や医療機関、行政、福祉施設など様々な機関と連携し対応しています。場所は2階サポートセンター内で、医療ソーシャル

ワーカー13名と事務4名が在籍しています。相談室は7部屋ありプライバシーに配慮した面談が可能です。

【退院後も安心した生活を】
当院は急性期病院として重症・緊急の患者さんを受け入れており、治療後は病状が安定した方の早期退院・転院を推進しています。

連携調整室では、県央地域の病院と定期的に情報交換を行い、介護が必要な方や独居・身寄りのない方に対して、入退院支援看護師や地域包括支援センター、ケアマネージャー、訪問看護などの介護サービス事業所などと連携し、安心して退院できるよう支援しています。

〈地域に向けてメッセージ〉

新しい病院ができると、その周辺に店ができ住居が増え、街が変わっていきます。私たちは地域の皆さまと協力し、ネットワークづくりや地域活動を通して、安心して医療を受けられる街づくりを目指しています。



今知りたい



Q & A

連携調整室 Q & A

Q 医療ソーシャルワーカーとは
どんなお仕事ですか？

A 病気や治療に伴う経済的・心理的・社会的な問題について相談にのり、安心した生活が送れるよう支援する病院の福祉専門職です。

Q 相談するには予約が必要ですか？

A 予約は必須ではありませんが、事前に電話で予約をとっていただくと、お待たせせずにご案内できると思います。

登録医のご紹介



三条ただ郷クリニック(三条市)

〈院長〉池上 敬一 様



- まず、御クリニックについて教えてください。

三条ただ郷クリニックは内科・外科を標榜しているクリニックです。もともとは外科、救命センター、訪問診療、総合診療に従事し、三条市の公募をきっかけに2019年に開業しました。下田地区の皆さまを中心に、どんな相談にも応じ、何でも診療し、その上で紹介するというスタイルをとっています。

- 日々の診療で心がけていること、大切にしていることはありますか？

患者さんご家族に最良の「受診経験」を提供しています。ニコニコの受付がお出迎え、車いすのお手伝いもいたします。対面・対話による診察、看護師が検査・注射・点滴などの全身ケアをし、院内薬剤師によるお薬の説明・相談、介護のことは相談員がご相談に応じます。「よく聞いてもらえた」「これで安心」と満足してお帰りにいただくことを大切にしています。

- 日々の生活の中で、気を付けた方がよい症状はありますか？

下田地区は高齢の方が多く、多様な疾患・多彩な症状・複数のクリニックにかかっていることが特徴です。症状への処方も多く、結果、お薬の量が増えています。診療では患者さんご家族の背景と受診歴から現在の問題を整理し、生活の仕方、運動・リハビリ、薬物による総合的な解決策を提案しています。患者さんご家族のニーズに応えるため、院長以外に整形外科専門医、糖尿病内分泌内科専門医、消化器内科の医師が対面診療（月一回・リモート診療（適宜））を行っています。市内への通院が困難になつてきた患者さんに対しては総合的な診療と処方を行います。通院に伴う家族の手間や事故の危険性を軽減しています。日常生活で不安・不調を感じたら当クリニックを受診してください。

- 地域にとつてどんなクリニックを目指していますか？

三条市の公設民営クリニックとして開業しました。下田地区を始め三条市の皆さまに総合的で親切的な優しい診療、そして結果が出る治療を行うため、スタッフ全員がチームとなり患者さんご家族の「受診してよかった」経験を広めています。自宅での看護が必要な方には訪問看護（ウェルビー訪問看護ステーション）同じ法人運営（を、受診が難しくなれば訪問診療を提供しています。11月からは救急車利用を減らすためにラビッドナースカー（車両を用いた訪問型オンライン往診診療、Doctor to Patient with Nurse）を開始いたします。



三条ただ郷クリニック【内科・外科】

〒955-0151 新潟県三条市荻堀1182-1
受付時間／午前8:15～11:45 午後13:30～16:45
TEL / 0256-46-8717
アクセス／東三条駅から車で15分
休診日／金曜・土曜・日曜・祝日
HP / sitadagoclinic.com



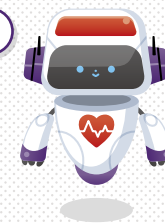
	受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:15～11:45	●	●	●	●			
午後	13:30～16:45	●	●	●	●			

今回は患者さんが入れない「staff only」な場所へご案内!

ケン オー
KEN-O くん

院内ウォーキング

〈 HOSPITAL WALKING 〉



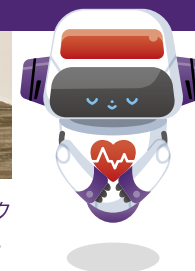
ケン オー
KEN-O くん

済生会新潟県中央基幹病院の新米ロボット。県央地域のみなさんが健康で楽しく暮らしていくためのお手伝いをするべく、日々勉強中。このコーナーでは、KEN-Oくんが院内をまわり、院内設備の紹介や各受付への行き方などを紹介しています。

多目的ホール



当院の3階にあり、最大100人を収容することができます!



多目的ホールはスクリーンやプロジェクター、スピーカーやマイク等の音響設備が整っているため、様々な用途で使用されています。



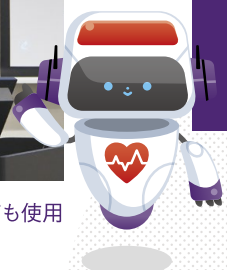
入職式のように人数が多く、フォーマルな行事は多目的ホールで開催します。



腕の模型に針を刺し、点滴の練習を行うなど、新人看護師の研修もここで行われます。



医師などの職員が活動報告をする場としても使用しています。



この写真は外科主任診療科長の中塚医師による「国境なき医師団外科医として南スーダンに従事した活動の報告会」の様子です!

リハビリスタッフが教える

食べる前の嚥下体操

運動の前に準備体操をする人は大勢いますが、飲み込みが悪い人にとって食べる前に準備体操をすることはとても大切です。嚥下体操は飲み込みに関与する筋肉をリラックスさせる効果があります。食事の前の2、3分ちょっと行うだけで効果があるので是非やってみてください。



POINT

ゆっくりと動かすことで首や肩への負担がかかりにくくなります。リラックスして行いましょう。

01 REPORT

当院病院キャラクター「けんおうくん」誕生!



より多くの方々に当院に親しみを感じていただけるよう、病院キャラクターを職員から募集するイベントを企画し、実施しました。多くの職員から寄せられた個性豊かな作品の中から、職員投票により最優秀作品が選出され、この度、病院キャラクターが決定しました!

見事選ばれたのは、放射線部の伊部さんが制作した「けんおうくん」です。

「けんおうくん」は、県央地域で有名な背脂ラーメンを食べすぎてお腹がポッコリしているというユニークな設定を持っています。

今後はこの手書きの作品をイラスト化し、患者さんや職員にも愛される当院のマスコットとして活躍していく予定です!お楽しみに。

02 NEWS

三条マルシェに出店しました



11月9日、済生会新潟県中央基幹病院のある三条市で開催された三条マルシェに出店しました。開院から2年目を迎えた当院について、より多くの方に知っていただくために、血圧測定と動脈硬化測定、健康相談や病院の救急車の展示、さらにはスクラップ着用体験を行いました。この日は、約150人の方々にお願いいただきました。

無料でできる動脈硬化測定や医師による健康相談ブースには、多くの方が列を

作ってくださいました。子どもたちには救急車の展示が大人気で、好きな色のスクラップを着用しながら、興味津々な様子で救急車の中を見学していました。

今回の出店を通して、地域の皆さまとの交流を深め、当院をより身近に感じていただけたと感じています。今後もこのようなイベントを通じて、病院を知っていただく機会を積極的に作っていきたいと考えております。

済生会の「無料低額診療事業」のご案内

当院では社会福祉法に基づき、医療費の軽減・減免を行っております。療養生活において経済的な事情がございましたら、お気軽に患者サポートセンター(2階)窓口にお声掛けください。医療ソーシャルワーカーが対応いたします。

【お問合せ】患者サポートセンター

TEL.0256-47-4700 (代表)

旬の食材

からだにおいしい

寒さが深まる季節。寒さの中に旬の恵が光ります。今回は心も体も温まる冬の味覚をご紹介します。

ぶり

「ぶり」の効能

今回は冬に旬を迎えるぶりについて紹介します。冬のぶりは脂がのって甘みがあり、成長の段階で呼び名が変わる出世魚です。縁起の良い魚としてお祝いの席にもぴったりです。

ぶりに含まれる栄養素

【DHA・EPA】

ぶりは青魚の中でもDHA・EPAを多く含み、血液をサラサラにして動脈硬化を防ぐほか、脳の働きを活発にし、記憶力維持にも効果的です。特に冬の寒ぶりは脂がのり、含有量が増えます。

DHA・EPAは熱に弱いため、加熱せずに食べられる刺身がおすすです。加熱する場合は、ホイル焼きにすると脂を包み込むことで、DHA・EPAを逃しにくくなります。

【タンパク質】

体内で合成できない必須アミノ酸をバランス良く含み、筋肉や皮膚、髪の毛の生成を助けるタンパク質が豊富です。代謝を助け、健康維持や疲労回復にも役立ちます。

【ビタミンB群】

ビタミンB1・B2・B6・B12などを多く含み、エネルギー代謝を促して疲労回復を助けます。B12は赤血球の生成を助け、貧血予防にも効果的です。

ビタミンB群は水に溶けやすい性質なので、臭み取りをする際の湯通しは熱湯をさっとかけるか、酒やレモン汁を使うことでビタミンB群の流出を少なくできます。

【ビタミンD】

ぶりは、ビタミンDを多く含む魚のひとつです。カルシウムの吸収を助け、骨を丈夫に保つ働きがあります。さらに体内の免疫細胞の働きをサポートし免疫機能の維持にも関わる栄養素です。ビタミンDは脂に溶けやすい脂溶性ビタミンのため、油と一緒に摂ることで吸収されやすくなります。

【ミネラル】

鉄や亜鉛などのミネラルを含みます。鉄は貧血の予防、亜鉛は免疫力維持、味覚の正常化に関与します。鉄は単独だと吸収されにくいですが、ビタミンCと一緒に摂ることで吸収されやすくなります。

監修：栄養部

「医療の窓」で、他にもお役立ち情報を発信中!



☑ ちょっと見直し!健康セルフチェック

(日々の生活の中でちょっと見直したい、健康のチェックリスト。是非ご自身に当てはめてチェックしてみてください。)



乳がんは、早期発見がなにより大切です。月に一度、自分の乳房をよく観察・触ってみることで、変化に気づくことがあります。生理がある方は生理が終わって3~7日目頃、閉経後は毎月同じ日に行いましょう!セルフチェックはあくまで「気づくための方法」です。異常がない場合でも、40歳以上の方は2年に1回のマンモグラフィ健診を受けることが大切です!

済生会新潟県中央基幹病院
外科部長 化学療法部長
沢津橋孝拓 先生

気になる症状のある方は、早めにかかりつけ医にご相談ください

気になる症状があれば、すぐに医療機関にご相談を!

乳がん チェックリスト

- ☐ しこりや固い部分がある
- ☐ 皮膚がへこんでいる、やつれている
- ☐ 血の混じった分泌物が出る
- ☐ わきの下が腫れている

〈今月号の表紙の写真について〉

口腔の象徴でもある歯の模型写真です。親知らずを除いた永久歯の本数は計28本であることは意外に知られていません。また人間の歯列では、食べ物を噛み切るための形態からすりつぶすための形態の歯が前方から後方に向かって順に理想的に並んでいます。



社会福祉法人

恩賜
財団

済生会新潟県央基幹病院

〒955-0091 新潟県三条市上須頃5001番地1

TEL.0256-47-4700 FAX.0256-33-8808

<https://www.kenoh.saiseikai.or.jp/>

病院のサイトには
右記二次元コードより
アクセスしてください

